

# 医学科教育学修プログラム

令和元年度後期

3年次

## 【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

## 【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00

## 令和元年度 授業時間配当表(医学科3年次)

### 後 期(15)

	Ⅰブロック(4)					Ⅱブロック(6)					Ⅲブロック(5)				
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1	研究室配属	研究室配属	研究室配属	研究室配属	応用英語Ⅱ	疫学と予防医学	臨床血液学	治療学	臨床消化器学	応用英語Ⅱ	(試験)	臨床血液学	臨床循環器学	臨床消化器学	応用英語Ⅱ
2	研究室配属	研究室配属	研究室配属	研究室配属	主題/人文・社会	疫学と予防医学	臨床血液学	治療学	臨床循環器学	主題/人文・社会	疫学と予防医学	臨床血液学	臨床循環器学	臨床消化器学	主題/人文・社会
3	研究室配属	研究室配属	研究室配属	研究室配属	治療学	臨床消化器学	臨床循環器学	臨床内分泌・代謝学	臨床呼吸器学	治療学	臨床消化器学	臨床呼吸器学	臨床内分泌・代謝学	臨床呼吸器学	臨床循環器学
4	研究室配属	研究室配属	研究室配属	研究室配属	治療学	臨床消化器学	臨床循環器学	* (調整枠)	臨床呼吸器学	治療学	臨床消化器学	臨床循環器学	臨床内分泌・代謝学	臨床呼吸器学	臨床呼吸器学
5															

※配当表のとおり実施できない場合があるので、日程はシラバスを確認すること。

※5限目等で補講を行う。休講補講等の通知は掲示板で行うので確認すること。

※金曜2時限の「主題/人文・社会」の選択科目は「医療手話」、「生活と法律 刑法」および「芸術」です。

# 令和元年度・七曜表

(医学科3年次)

15週制

	前 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
4		1	2	3	4	5	6	1
	7	8	9	10	11	12	13	2
	14	15	16	17	18	19	20	3
	21	22	23	24	25	26	27	4
	28	29	30	1	2	3	4	
5	5	6	7	8	9	10	11	5
	12	13	14	15	16	17	18	6
	19	20	21	22	23	24	25	7
	26	27	28	29	30	31	1	8
6	2	3	4	5	6	7	8	9
	9	10	11	12	13	14	15	10
	16	17	18	19	20	21	22	11
	23	24	25	26	27	28	29	12
7	30	1	2	3	4	5	6	13
	7	8	9	10	11	12	13	14
	14	15	16	17	18	19	20	15
	21	22	23	24	25	26	27	試験
	28	29	30	31	1	2	3	
8	4	5	6	7	8	9	10	再
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
9	1	2	3	4	5	6	7	再試
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30						

	後 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
10			1	2	3	4	5	1
	6	7	8	9	10	11	12	2
	13	14	15	16	17	18	19	3
	20	21	22	23	24	25	26	4
	27	28	29	30	31	1	2	5
	11	3	4	5	6	7	8	9
10		11	12	13	14	15	16	7
17		18	19	20	21	22	23	8
24		25	26	27	28	29	30	9
12		1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14	11
	15	16	17	18	19	20	21	12
	22	23	24	25	26	27	28	13
	29	30	31	1	2	3	4	
	1	5	6	7	8	9	10	11
12		13	14	15	16	17	18	15
19		20	21	22	23	24	25	16
26		27	28	29	30	31	1	試験
2		2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
3	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					

備考

- ◇ 5月7日(火) 月曜日授業
- ◇ 6月1日(土) 開学記念日
- ◇ 7月24日(水) 定期試験開始
- ◇ 8月6日(火) 定期試験終了
- ◇ 8月26日(月) 再試験期間開始
- ◇ 8月30日(金) 再試験期間終了
- ◇ 9月24日(火) 再試験期間開始
- ◇ 9月30日(月) 再試験期間終了
- ◇ 11月6日(水) 月曜日授業
- ◇ 1月16日(木) 月曜日授業
- ◇ 1月17日(金) 午前中のみ金曜日授業
- ◇ 1月28日(火) 定期試験開始
- ◇ 2月10日(月) 定期試験終了
- ◇ 2月12日(水) 再試験期間開始
- ◇ 2月28日(金) 再試験期間終了

※応用英語で高橋クラスの学生はTOEICを必ず受験してください。(前・後期各1回実施予定)

月曜授業
  火曜授業
  水曜授業
  木曜授業
  金曜授業



# 医学科3年次目次

後期

	区分	授業科目名	
選択	主題	医療手話	..... 1年次参照
選択	主題	社会福祉援助論	..... 1年次参照
選択	基幹(人文・社会)	生活と法律 刑法	..... 1年次参照
選択	基幹(人文・社会)	芸術	..... 1年次参照
選択	基幹(人文・社会)	哲学・倫理学	..... 1年次参照
必修	外国語	応用英語Ⅱ(景山・黒沢クラス)	..... 1
必修	外国語	応用英語Ⅱ(高橋クラス)	..... 2
必修	専門科目	疫学と予防医学	..... 3
必修	専門科目	研究室配属	..... 4
必修	専門科目	治療学	..... 5 ~ 6
必修	専門科目	臨床消化器学	..... 7 ~ 8
必修	専門科目	臨床循環器学	..... 9 ~ 10
必修	専門科目	臨床呼吸器学	..... 11 ~ 12
必修	専門科目	臨床内分泌・代謝学	..... 13
必修	専門科目	臨床血液学	..... 14 ~ 15

※選択科目:選択、選択必修科目:選必、必修科目:必修は平成28年度入学者を基準としています。

※応用英語は、クラス分けを發表しますので、確認ください。

※主題、基幹(人文・社会)から4年次終了までに16単位修得してください。

※○は、公開授業講座となり、一般の方が講義を受講されることがあります。

授業のレベルについて

- 1:入門及び初級レベル
- 2:中級レベル(基礎科目)
- 3:中級～上級レベル(応用科目)
- 4:上級レベル(発展科目)
- 5:大学院レベル

## 応用英語Ⅱ(景山・黒沢クラス)

科目到達目標: 国際的な英文医学雑誌に掲載された記事を要約できる能力を開発する。

科目責任者(所属教室): 景山 誠二(ウイルス学)

連絡先: 研究室 TEL 0859-38-6081、e-mail skageyama@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/4(金)	1	322	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(1)	増本 年男	健康政策医学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
2	10/11(金)	1	322	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(2)	増本 年男	健康政策医学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
3	10/11(金)	5	421	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(3)	天野 宏紀	健康政策医学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
4	10/31(木)	5	322	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(4)	天野 宏紀	健康政策医学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
5	11/1(金)	1	322	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(5)	天野 宏紀	健康政策医学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
6	11/8(金)	1	322	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(6)	黒沢 洋一	健康政策医学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
7	11/15(金)	1	322	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(7)	黒沢 洋一	健康政策医学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
8	11/22(金)	1	322	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(8)	景山 誠二	ウイルス学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
9	11/29(金)	1	322	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(9)	金井 亨輔	ウイルス学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
10	12/6(金)	1	322	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(10)	景山 誠二	ウイルス学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
11	12/13(金)	1	421	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(11)	金井 亨輔	ウイルス学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
12	12/20(金)	1	322	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(12)	景山 誠二	ウイルス学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
13	12/27(金)	1	322	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(13)	金井 亨輔	ウイルス学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
14	1/10(金)	1	322	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(14)	景山 誠二	ウイルス学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約
15	1/17(金)	1	322	英文医学雑誌の記事を読み、要約する(15)	金井 亨輔	ウイルス学	英文医学雑誌から情報を収集する能力の基盤を作る。	英文医学雑誌、読解、要約

教育ブランドデザインとの関連: 2、3、5

学位授与の方針との関連: 1、2、3

授業のレベル: 3(中級～上級レベル: 応用科目)

評価: 小試験

実務経験との関連: スウェーデン・フランス・米国留学経験。フィリピン共和国での政府開発援助。長年の医学英語授業経験。

科目責任教員への連絡方法: 面談は、随時可能ですが、放課後5時から7時を学生面談の標準時間にしてあります。

教科書: 毎回英文記事を提供する。

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

## 応用英語Ⅱ(高橋クラス)

科目到達目標: 医学関連トピックの文章や診療英会話に頻出の語彙や表現について理解し、説明できる。

上記語彙や表現を、英語での簡単なコミュニケーション、情報収集、プレゼンテーションなど実践的な場面で活用できる。

科目責任者(所属教室): 高橋 洋一(医学教育学)

連絡先: 0859-38-6436(研究室)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/4(金)	1	C演習室	オリエンテーション	高橋 洋一	医学教育学	e-learning教材による学習方法を理解する。	e-learning教材による学習
2	10/11(金)	1	C演習室	TOEIC演習(1)	高橋 洋一	医学教育学	TOEICの出題形式と目的を把握する。	TOEICの出題形式・目的
3	10/18(金)	1	C演習室	ALC NA NEXT (Listening Unit)	高橋 洋一	医学教育学	診療英会話を題材に、実践的リスニング能力を習得する。	Medical Interview
4	10/25(金)	1	C演習室	ALC NA NEXT (Reading Unit)	高橋 洋一	医学教育学	医学関連記事を読み、頻出語彙・表現を理解する。	Medical Terms and Expressions
5	11/1(金)	1	C演習室	TOEIC演習(2)	高橋 洋一	医学教育学	基本的なリーディング・リスニングの自主トレーニングを行う。	リーディング、リスニングの自己学習
6	11/8(金)	1	C演習室	ALC NA NEXT (Listening Unit)	高橋 洋一	医学教育学	診療英会話を題材に、実践的リスニング能力を習得する。	Medical Interview
7	11/15(金)	1	C演習室	TOEIC演習(3)	高橋 洋一	医学教育学	基本的なリーディング・リスニングの自主トレーニングを行う。	リーディング、リスニングの自己学習
8	11/22(金)	1	C演習室	ALC NA NEXT (Reading Unit)	高橋 洋一	医学教育学	医学関連記事を読み、頻出語彙・表現を理解する。	Medical Terms and Expressions
9	11/29(金)	1	C演習室	TOEIC演習(4)	高橋 洋一	医学教育学	基本的なリーディング・リスニングの自主トレーニングを行う。	リーディング、リスニングの自己学習
10	12/6(金)	1	C演習室	ALC NA NEXT (Listening Unit)	高橋 洋一	医学教育学	診療英会話を題材に、実践的リスニング能力を習得する。	Medical Interview
11	12/13(金)	1	C演習室	TOEIC演習(5)	高橋 洋一	医学教育学	基本的なリーディング・リスニングの自主トレーニングを行う。	リーディング、リスニングの自己学習
12	12/20(金)	1	C演習室	ALC NA NEXT (Reading Unit)	高橋 洋一	医学教育学	医学関連記事を読み、頻出語彙・表現を理解する。	Medical Terms and Expressions
13	1/10(金)	1	C演習室	ALC NA NEXT (Listening Unit)	高橋 洋一	医学教育学	診療英会話を題材に、実践的リスニング能力を習得する。	Medical Interview
14	1/17(金)	1	C演習室	ALC NA NEXT (Reading Unit)	高橋 洋一	医学教育学	医学関連記事を読み、頻出語彙・表現を理解する。	Medical Terms and Expressions
15	1/24(金)	1	C演習室	ALC NA NEXT (Listening Unit)	高橋 洋一	医学教育学	診療英会話を題材に、実践的リスニング能力を習得する。	Medical Interview

教育ブランドデザインとの関連: 1、2、5

学位授与の方針との関連: 1、3

授業のレベル: 3

評価: 定期試験 40%、小試験 35%、小レポート 15%、TOEICスコア 10%

教科書: ALC NetAcademy NEXT (e-learning教材)

その他: 12月21日(土)に学内で実施するTOEICを受験すること。授業ではe-learning教材を中心に他教材も併用しての演習を行うので、学習状況に応じて内容が前後することや、同一時限内で複数の内容を組み合わせて実施することがある。

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

## 疫学と予防医学

科目到達目標: 疫学方法論、考え方についての知識と方法を習得する。

科目責任者(所属教室): 尾崎 米厚(環境予防医学)

連絡先: 研究室TEL: 0859-38-6103

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/31(木)	1	323	疫学概念	尾崎 米厚	環境予防医学	疫学概念	疫学の定義・概念・目的、疫学的方法論、疾病発生論、病因論、疫学的因果関係論
2	10/31(木)	2	323	疾病の定義と分類、国際疾病分類、疫学の諸指標	尾崎 米厚	環境予防医学	疾病の定義と分類、国際疾病分類ICD、疾病の頻度と分布をあらわす指標を説明できる。	疾病の定義、疾病分類、疾病頻度の測定、国際疾病分類、率と比、分布とばらつき、死亡率、罹患率、有病率
3	11/11(月)	2	323	疫学調査事例1(地域医療の疫学)	金城 文	環境予防医学	地域医療分野に関連する疫学の実例を知る。	地域医療課題に関する疫学研究事例、終末期に関係した疫学、QOL、QOD
4	11/25(月)	1	323	年齢調整率と標準化死亡比SMR	尾崎 米厚	環境予防医学	年齢調整率と標準化死亡比SMRを計算できる。	標準化、直接法、間接法、年齢調整、標準化死亡比(SMR)
5	11/25(月)	2	323	疫学研究方法論 1	尾崎 米厚	環境予防医学	記述疫学を説明できる。	記述疫学、流行調査、仮説の設定方法
6	12/2(月)	1	323	疫学研究方法論 2	尾崎 米厚	環境予防医学	分析疫学: 症例対照研究を説明できる。	症例・対照研究、オッズ比、マッチング
7	12/2(月)	2	323	疫学研究方法論 3	尾崎 米厚	環境予防医学	分析疫学: コホート研究を説明できる。	コホート研究、後ろ向きコホート研究、相対危険度
8	12/9(月)	1	323	疫学研究方法論 4	尾崎 米厚	環境予防医学	臨床疫学、介入研究の方法を説明できる。	無作為化比較試験、臨床試験、介入研究、無作為割り付け
9	12/9(月)	2	323	臨床疫学	桑原 祐樹	環境予防医学	臨床疫学、スクリーニング検査について説明できる。	臨床疫学、スクリーニング検査、検査の妥当性指標、事後確率(検査後確率)、ROC分析
10	12/16(月)	1	323	人口静態統計と人口動態統計、疾病・有病・障害統計、生命関数	尾崎 米厚	環境予防医学	人口静態統計と人口動態統計。疾病・有病・障害統計、生命関数(表)(平均余命と平均寿命)の概要を解説できる。	人口静態統計、国勢調査、人口ピラミッド、人口動態統計、死亡統計、疾病統計、有病統計、障害統計、患者調査、国民生活基礎調査、感染症動向調査、食中毒統計、生命表、生命関数、平均寿命、平均余命、健康寿命、早世指標
11	12/16(月)	2	323	疫学調査事例2(水俣病)	尾崎 米厚	環境予防医学	疫学方法論の応用して、社会医学的問題をみることができる。	感染症の疫学、流行調査、環境疫学、疫学研究が適切になされなかった事例
12	1/6(月)	1	323	疫学調査事例3(喫煙、飲酒の疫学)	尾崎 米厚	環境予防医学	モニタリング、症例対照研究、コホート研究、介入研究など疫学研究方法論の応用実例を説明できる。	記述疫学、分析疫学、実験疫学、疫学研究の活用
13	1/6(月)	2	323	疫学調査事例4(薬剤疫学、薬害)	尾崎 米厚	環境予防医学	疫学方法論の応用方法。薬剤疫学、データのねつ造、不正について解説できる。	疫学研究方法の問題、薬害、疫学統計の誤用、研究倫理
14	1/20(月)	1	323	因果推論、バイアスと交絡因子	尾崎 米厚	環境予防医学	因果関係の推論方法、バイアスの種類と調整方法を理解する。	因果関係の類推、バイアス、交絡因子
15	1/20(月)	2	323	健康管理、健康診断とその事後指導	尾崎 米厚	環境予防医学	健康管理、健康診断とその事後指導、健康診断の疫学的評価について理解できる。	健康管理、健康診断、事後指導、EBM、ガイドライン、がん検診の有効性

教育ブランドデザインとの関連: 2、3、4、5、6、7

学位授与の方針との関連: 1、2、3、4

授業レベル: 2

評価: 定期試験100%

実務経験との関連: 疫学を専門とし、実際に疫学調査研究をおこなう教員が講義を実施する。

## 研究室配属

科目到達目標: 特定の基礎・臨床医学系教室において、1ヵ月にわたって学習・研究に従事することにより、医学を科学的基盤に立って考察できる能力を身につける。

科目責任者(所属教室): 海藤 俊行(学部教育支援室)

連絡先: 0859-38-6438 (学部教育支援室)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/1(火)	1~4	各教室	1. 学習テーマならびに方略は、各教室にて学生の希望を加味しつつ調整、決定される。 2. 時限数 4時限×16回(5週間)=64時限(10月1日~10月30日の月曜日、火曜日、水曜日、木曜日)	配属先教員	配属先の講座・分野・診療科	1. 医学的な問題に関心を持ち、学習テーマを見出すことができる。 2. 自主的かつ積極的に学習・調査することができる。 3. 実験の計画、準備、実施を自ら行うことができる。 4. 得られたデータを解析し、発表(プレゼンテーション、レポート作成)することができる。 5. 小グループの中で協調性を発揮し、チームの仲間と協力して問題解決ができる。	研究、実験、プレゼンテーション、レポート作成
2	10/2(水)	1~4	各教室					
3	10/3(木)	1~4	各教室					
4	10/7(月)	1~4	各教室					
5	10/8(火)	1~4	各教室					
6	10/9(水)	1~4	各教室					
7	10/10(木)	1~4	各教室					
8	10/15(火)	1~4	各教室					
9	10/16(水)	1~4	各教室					
10	10/17(木)	1~4	各教室					
11	10/21(月)	1~4	各教室					
12	10/23(水)	1~4	各教室					
13	10/24(木)	1~4	各教室					
14	10/28(月)	1~4	各教室					
15	10/29(火)	1~4	各教室					
16	10/30(水)	1~4	各教室					
17	12/20(金)	3~5	323	発表会				

教育グランドデザインとの関連: 1、2、3、4、5、6

学位授与の方針との関連: 1、2

授業レベル: 4

評価: 実習科目であるので、全出席を原則とする。

実習態度、プレゼンテーション、レポートなどをもとに評価する。

実務経験との関連: 研究医や臨床医がその経験を生かして、研究を指導する。

## 治療学

科目到達目標: 診療知識として各種診断治療の基本を学ぶ。

科目責任者(所属教室): 今村 武史(薬理学・薬物療法学)

連絡先: E-mail <timamura@tottori-u.ac.jp>

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/4(金)	3	323	放射線を用いる診断と治療(1)	内田 伸恵	放射線診療科群	放射線治療の原理を説明し、主な放射線治療法を列挙できる。	がんの集学的治療、治療可能比、分割照射
2	10/4(金)	4	323	悪性腫瘍の放射線治療(1)	内田 伸恵	放射線診療科群	小線源治療の原理・特徴を理解し、説明できる。	小線源治療、有害事象
3	10/11(金)	3	421	輸液療法	中村 廣繁	胸部外科学	水・電解質の管理を理解する。	水出納、電解質、輸液法
4	10/11(金)	4	421	ショックと輸血	高木 雄三	胸部外科診療科群	ショックの診断、治療を理解する。	ショック、止血、輸血法、合併症
5	10/18(金)	3	323	放射線を用いる診断と治療(2)	神納 敏夫	画像診断治療学(非常勤講師)	肝癌、食道静脈瘤、胆管癌の治療を説明できる。画像誘導治療を説明できる。	画像誘導治療、集学治療
6	10/18(金)	4	323	外科的基本手技	藤原 義之	病態制御外科学	外科の基本手技を理解する。	切開、縫合、止血、ドレナージ
7	10/25(金)	3	323	創傷と感染	本城 総一郎	第一外科診療科群	外科の歴史、創傷、消毒、滅菌を理解する。	創傷、消毒、滅菌、病原性微生物、院内感染
8	10/25(金)	4	323	心電図検査と所見の読み方	長谷川 純一	薬理学・薬物療法学(非常勤講師)	心電図検査の目的、適応を理解し、所見を解釈できる。	12誘導心電図、長時間心電図、携帯型発作時心電図、負荷心電図、肥大、虚血、不整脈
9	11/1(金)	3	421	悪性腫瘍の放射線治療(2)	唐澤 克之	画像診断治療学(非常勤講師)	頭頸部癌、消化器癌の放射線治療の意義を説明できる。	根治放射線治療、高精度放射線治療
10	11/1(金)	4	421	脳神経外科の手術	黒崎 雅道	脳神経外科学	脳神経外科手術の基本を理解する。	開頭術、経鼻の手術、顕微鏡手術、神経内視鏡手術
11	11/6(水)	1	323	介護と在宅医療	黒沢 洋一	健康政策医学	介護と在宅医療を概説できる。	介護、日常生活動作、在宅医療、在宅酸素療法
12	11/6(水)	2	323	病態時における薬物療法	三明 淳一郎	薬理学・薬物療法学	各種病態時の薬物治療を説明できる。	妊産婦、肝障害、腎障害、心不全時の薬物治療
13	11/8(金)	4	421	アクティブラーニング(1)	柳田 俊彦	薬理学・薬物療法学(非常勤講師)	治療者に求められる知識、コミュニケーション、被治療者からの視点などを実践を通じて理解する。	薬物治療、Case & Communicationアプローチ
14	11/8(金)	5	421	アクティブラーニング(2)	柳田 俊彦	薬理学・薬物療法学(非常勤講師)	治療者に求められる知識、コミュニケーション、被治療者からの視点などを実践を通じて理解する。	薬物治療、Case & Communicationアプローチ
15	11/13(水)	1	323	悪性腫瘍の放射線治療(3)	内田 伸恵	放射線診療科群	緩和的放射線治療の意義を説明できる。緩和照射が有効な病態を説明できる	緩和的放射線治療、集学的治療
16	11/13(水)	2	323	経皮的酸素飽和度モニターと、動脈血ガス分析、呼吸不全とその治療	南 ゆかり	高次集中治療部	経皮的酸素飽和度モニターが使用できる。動脈血ガス分析の目的適応と異常所見を説明し結果を解釈できる。酸素療法と人工呼吸管理を理解する。	経皮的酸素飽和度モニター、動脈血ガス分析、酸素療法、人工呼吸管理

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
17	11/15(金)	3	323	臨床検査の基本的事項	本倉 徹	臨床検査医学	臨床検査の基準値・カットオフ値の意味が説明できる。検査の特性を説明できる。	基準範囲、カットオフ値、ROC曲線、感度、特異度、疑陽性、偽陰性、検査前確率、検査後確率、尤度比、オッズ
18	11/15(金)	4	323	血液検査・血液生化学検査・尿・糞便検査	法正 恵子	検査部	血液一般・生化学検査および尿・糞便検査の臨床的意義を説明できる。	血球・凝固・細胞内液・細胞外液・基準範囲
19	11/20(水)	1	323	周術期管理、栄養管理	本城 総一郎	第一外科診療科群	手術治療前後の病態と栄養管理方法、一般的食事療法を理解する。	術後合併症、術後管理、中心静脈栄養、経腸栄養
20	11/20(水)	2	323	薬理遺伝学と時間薬理学	三明 淳一郎	薬理学・薬物療法学	薬理作用の個人差を理解する。投与方法・投与期間による薬効差を理解する。	時間薬理学、薬理遺伝学、遺伝子多型
21	11/22(金)	3	323	脳腫瘍の放射線治療、化学療法	神部 敦司	脳神経外科	脳腫瘍に対する放射線治療、化学療法を理解する。	脳腫瘍、化学療法、放射線療法
22	11/27(水)	1	323	服薬アドヒアランスと処方箋の書き方	三明 淳一郎	薬理学・薬物療法学	服薬アドヒアランスと処方箋の書き方を説明できる。	処方箋記載、服薬の基本、薬剤選択法
23	11/27(水)	2	323	臨床薬物動態と薬物モニタリング	島田 美樹	薬剤部	薬物治療の基本事項を理解する。薬物動態を理解する。薬物モニタリングの重要性を理解する。	薬物動態学、血中濃度-作用関係、TDM
24	11/29(金)	4	323	脳神経血管内治療	坂本 誠	脳神経外科学	各種の血管内治療を理解する。	脳動脈瘤コイル塞栓術、頸動脈ステント、血栓回収
25	12/4(水)	1	323	薬物相互作用と薬物有害反応	島田 美樹	薬剤部	薬物相互作用、薬物有害反応について例を挙げて説明できる。	薬物有害反応、副作用、薬物の蓄積、薬物相互作用、薬害
26	12/4(水)	2	323	病理組織検査	堀江 靖	病理部	病理組織検査の目的と意義を説明できる。	病理診断学の種類、適用 癌取扱規約 癌効果判定
27	12/6(金)	3	323	外科的侵襲と生体反応	西村 元延	器官再生外科学	外科侵襲の病態を理解する。	手術侵襲、SIRS、MOF
28	12/6(金)	4	323	臓器移植と人工臓器	西村 元延	器官再生外科学	主な臓器移植、人工臓器を理解する。	移植免疫、適合試験、移植法、人工臓器
29	12/11(水)	1	323	高齢者の薬物治療とポリファーマシー	今村 武史	薬理学・薬物療法学	老化に伴う臓器機能変化に応じた薬物治療の注意点、およびポリファーマシーの問題点を理解する。	高齢者の薬物治療、ポリファーマシー
30	12/11(水)	2	323	医薬品適正使用と薬物依存	今村 武史	薬理学・薬物療法学	薬物依存の現状と対策を理解する。	薬物依存、脳内報酬系、中枢作用薬

教育ブランドデザインとの関連: 2, 3, 6, 7

学位授与の方針との関連: 1, 2, 4

授業レベル: 3

評価: 評価は定期試験による(配点は担当教室毎のコマ数による)

実務経験との関連: 現役の医師、薬剤師がその経験を活かし、専門分野に関する講義を行う。

その他: 教科書・参考書等は適宜紹介する。

## 臨床消化器学

科目到達目標: 消化器疾患の病態、症候、診断、治療を説明できる。

科目責任者(所属教室): 藤原 義之(病態制御外科学)

連絡先: y-fujiwara@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/31(木)	3	323	口腔疾患	土井 理恵子	口腔顎顔面病態外科学	口腔疾患の病態と診断・治療を理解する。	菌性非菌性感染症
2	10/31(木)	4	323	口腔疾患	田村 隆行	歯科口腔外科	口腔疾患の病態と診断・治療を理解する。	全身疾患と口腔疾患
3	11/7(木)	1	323	口腔疾患	山本 哲也	口腔顎顔面病態外科学(非常勤講師)	口腔疾患の病態と診断・治療を理解する。	口腔粘膜疾患
4	11/11(月)	3	323	咽喉頭疾患	森實 理恵	頭頸部診療科群	咽喉頭疾患の病態と診断・治療を理解する。	嚥下障害、扁桃炎、反回神経麻痺、咽頭異物、急性喉頭蓋炎
5	11/11(月)	4	323	咽喉頭疾患	藤原 和典	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	咽喉頭疾患の病態と診断・治療を理解する。	嚥下障害、扁桃炎、反回神経麻痺、咽頭異物、急性喉頭蓋炎
6	11/18(月)	3	323	悪性肝疾患(1)	的野 智光	第二内科診療科群	肝悪性腫瘍の病態と診断・治療を理解する。	原発性肝癌の治療
7	11/18(月)	4	323	急性腹症	宮谷 幸造	第一外科診療科群	急性腹症をきたす疾患の診断・治療を理解する。	急性虫垂炎、腹膜炎、イレウス
8	11/21(木)	5	323	膵疾患	武田 洋平	第二内科診療科群	膵炎・膵癌の病態と診断・治療を理解する。	急性膵炎、慢性膵炎、膵癌
9	11/25(月)	3	323	食道良性疾患	池淵雄一郎	第二内科診療科群	胃食道逆流症の病態と診断・治療を理解する。	胃食道逆流症、食道炎
10	11/25(月)	5	323	肝炎(1)	岡野 淳一	機能病態内科学	ウイルス性肝炎、自己免疫性肝疾患、薬物性肝障害の病態を理解する。	ウイルス性肝炎、劇症肝炎、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性肝硬変、薬物性肝障害
11	11/28(木)	1	323	ヘルニア	松永 知之	第一外科診療科群	腹部ヘルニアの病態と診断・治療を理解する。	鼠径ヘルニア、腹壁ヘルニア
12	12/2(月)	4	323	上部消化管疾患の内視鏡診断と治療	吉田 亮	先進内視鏡センター	上部消化管疾患の内視鏡診断・治療を理解する。	上部消化管内視鏡
13	12/2(月)	5	323	肝硬変(1)	永原 天和	第二内科診療科群	肝硬変の病態を理解する。	肝硬変 門脈圧亢進症
14	12/5(木)	1	323	下部消化管疾患の内視鏡診断と治療	河口 剛一郎	第二内科診療科群	下部消化管疾患の内視鏡診断・治療を理解する。	下部消化管内視鏡
15	12/9(月)	3	323	小児外科1	高野 周一	病態制御外科学	小児外科疾患の病態と診断・治療を理解する。	小児外科総論、各論1
16	12/9(月)	4	323	悪性肝疾患(2)	的野 智光	第二内科診療科群	肝悪性腫瘍の病態と診断・治療を理解する。	原発性肝癌の診断
17	12/12(木)	5	323	胃良性疾患	八島 一夫	機能病態内科学	胃潰瘍、胃炎の病態と診断・治療を理解する。	消化性潰瘍、H.pylori、胃炎、胃ポリープ
18	12/16(月)	3	323	胆道疾患	坂本 照尚	第一外科診療科群	胆道疾患の病態と診断・治療を理解する。	胆嚢炎、胆石症、胆嚢・胆管癌、胆嚢ポリープ
19	12/16(月)	5	323	大腸良性疾患	八島 一夫	機能病態内科学	炎症性腸疾患の病態と診断・治療を理解する。	潰瘍性大腸炎、Crohn病、大腸ポリープ
20	12/19(木)	1	323	食道悪性疾患	福本 陽二	第一外科診療科群	食道癌の病態と診断・治療を理解する。	食道癌、食道肉腫、食道破裂
21	12/19(木)	2	323	小児外科2	高野 周一	第一外科診療科群	小児外科疾患の病態と診断・治療を理解する。	小児外科総論、各論2

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
22	12/23(月)	3	323	大腸悪性・肛門疾患	山本 学	第一外科診療科群	大腸癌・肛門疾患の病態と診断・治療を理解する。	結腸癌、直腸癌・痔疾患、脱肛、肛門悪性腫瘍
23	12/23(月)	4	323	移植外科	本城 総一郎	第一外科診療科群	消化器領域の移植医療を理解する。	肝移植・小腸移植・膵移植
24	12/26(木)	1	323	化学療法	徳安 成郎	病態制御外科学	消化器癌の化学療法を理解する。	根治的化学療法、術前化学療法、術後補助化学療法
25	12/26(木)	2	323	消化管の画像診断	北尾 慎一郎	画像診断治療学	消化管の画像診断を理解する。	消化管 画像解剖 画像所見
26	1/6(月)	3	323	口腔疾患	小谷 勇	口腔顎顔面病態外科学	口腔疾患の病態と診断・治療を理解する。	口腔悪性腫瘍
27	1/6(月)	4	323	咽喉頭疾患	福原 隆宏	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	咽喉頭疾患の病態と診断・治療を理解する。	嚥下障害、扁桃炎、反回神経麻痺、咽頭異物、急性喉頭蓋炎
28	1/9(木)	2	323	鏡視下手術	藤原 義之	第一外科診療科群	消化器疾患の腹腔鏡手術を理解する。	腹腔鏡下胆嚢摘出術、腹腔鏡下胃切除術、腹腔鏡下大腸切除術
29	1/9(木)	5	323	肝炎(2)	岡野 淳一	機能病態内科学	ウイルス性肝炎、自己免疫性肝疾患、薬物性肝障害の病態を理解する。	ウイルス性肝炎、劇症肝炎、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性肝硬変、薬物性肝障害
30	1/14(火)	4	323	胃悪性疾患	藤原 義之	病態制御外科学	胃癌の病態と診断・治療を理解する。	胃癌、胃肉腫、胃悪性リンパ腫
31	1/16(木)	5	323	胆膵疾患の内視鏡診療	武田 洋平	第二内科診療科群	胆膵疾患の内視鏡診断・治療	胆膵疾患の内視鏡
32	1/20(月)	4	323	手術部位感染とパス	山本 学	第一外科診療科群	手術部位感染、クリニカルパスを理解する。	手術部位感染、感染予防、抗生物質の使い方、クリティカルパス
33	1/20(月)	5	323	肝炎(3)	岡野 淳一	機能病態内科学	ウイルス性肝炎、自己免疫性肝疾患、薬物性肝障害の病態を理解する。	ウイルス性肝炎、劇症肝炎、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性肝硬変、薬物性肝障害
34	1/22(水)	3	323	消化器疾患IVR	矢田 晋作	画像診断治療学	消化器のIVRを理解する。	消化器 IVR
35	1/22(水)	4	323	肝臓・胆嚢・膵臓の画像診断	矢田 晋作	画像診断治療学	肝臓・胆嚢・膵臓の画像診断を理解する。	肝臓・胆嚢・膵臓 画像解剖 画像所見
36	1/23(木)	1	323	口腔疾患	土井 理恵子	口腔顎顔面病態外科学	口腔疾患の病態と診断・治療を理解する。	唾液性疾患
37	1/27(月)	3	323	消化器外科最近の話題	藤原 義之	病態制御外科学	消化器外科の最前線を知る	肥満外科治療・がんゲノム医療など
38	1/27(月)	5	323	肝硬変(2)	永原 天和	第二内科診療科群	肝硬変患者における合併症の診断治療を理解する。	肝性脳症、腹水、肝腎症候群

教育グランドデザインとの関連: 2

学位授与の方針と関連: 1

授業レベル: 3

評価: 評価は定期試験による(配点は担当教室毎のコマ数による)

実務経験との関連: 現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。

教科書: ダイナミック・メディシン4(西村書店)、標準外科学(医学書院)、TEXT耳鼻咽喉科・頭頸部外科学(南山堂)、口腔外科学(医歯薬出版)、口腔内科学((株)飛鳥出版室)。

内科に関しては、内科学(朝倉書店)、内科学書(中山書店)、新臨床内科学(医学書院)などしっかりしたもののうちどれかひとつを持っておくとよい。

## 臨床循環器学

科目到達目標: 1)循環器疾患の病態生理を説明できる。  
2)循環器疾患の症候と診断を概説できる。  
3)循環器疾患の治療と予後の要点を説明できる。

科目責任者(所属教室):西村 元延, 中村 嘉伸(器官再生外科学)

連絡先:器官再生外科学医局TEL:0859-38-6577

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	11/5(火)	4	323	循環器疾患の症候、診断、治療	堀江 弘夢	高次集中治療部	循環器疾患の症候、診断、治療を概説できる。	胸痛、呼吸困難、ショック、機能評価、画像診断、薬物治療、外科治療
2	11/6(水)	4	323	全身疾患に伴う心血管異常	加藤 雅彦	病態検査学講座	各種全身疾患の心合併症の内科的管理ができる。	糖尿病、脂質異常症、腎不全、甲状腺機能異常、血液疾患、膠原病
3	11/7(木)	2	323	末梢動脈疾患	岸本 祐一郎	器官再生外科学	末梢動脈疾患の症候、診断、治療を説明できる。	症候、分類、画像診断、薬物治療、血管内治療、血行再建術
4	11/12(火)	4	323	虚血性心疾患(1)	渡部 友視	第一内科診療科群	虚血性心疾患の病態、症候、診断を説明できる。	冠動脈解剖、病型、重症度、各種虚血検査、冠動脈造影検査
5	11/13(水)	4	323	不整脈(1)	加藤 克	病態情報内科学	徐脈性不整脈と頻脈性不整脈を概説できる。	薬物治療と非薬物治療
6	11/14(木)	2	323	循環器疾患に対する検査(1)	柳原 清孝	第一内科診療科群	循環器疾患に対する検査が説明できる。	レントゲン検査、心電図、超音波検査
7	11/19(火)	4	323	虚血性心疾患(2)	渡部 友視	第一内科診療科群	虚血性心疾患の治療を説明できる。	病型、重症度、薬物療法、カテーテル治療
8	11/20(水)	4	323	不整脈(2)	小倉 一能	第一内科診療科群	12誘導心電図の誘導が説明できる。刺激伝導系が説明できる。徐脈性不整脈と頻脈性不整脈を概説できる。薬物療法と非薬物療法が概説できる。	薬物治療、カテーテル治療、ペースメーカー、植え込み型除細動器
9	11/21(木)	2	323	不整脈(3)	小倉 一能	第一内科診療科群	徐脈性不整脈ならびにその治療が概説できる。	心電図診断、ペースメーカー、植込み型除細動器
10	11/26(火)	4	323	虚血性心疾患の二次予防	衣笠 良治	病態情報内科学	虚血性心疾患の二次予防について説明できる。	カテーテル治療、内服治療、二次予防
11	11/27(水)	4	323	カテーテルインターベンション	高杉 昌平	放射線科	血管疾患に対するIVRについて理解する。	カテーテル治療、IVR
12	11/28(木)	2	323	高血圧	松原 剛一	第一内科診療科群	総合的な臓器リスク管理の重要性とその実際を理解し、高血圧患者各人にとって必要な非薬物療法・薬物療法を提案できる。	疫学、診断基準、高血圧ガイドライン、合併症、食事療法、薬物治療
13	12/3(火)	4	323	胸部大動脈疾患	中村 嘉伸	器官再生外科学	胸部大動脈疾患の病態、症候、診断、治療を説明できる。	画像診断、薬物治療、血管内治療、外科手術
14	12/5(木)	2	323	大動脈弁疾患	山本 一博	病態情報内科学	大動脈弁疾患の病態、症候、診断、治療方針を説明できる。	自覚症状、検査所見、手術適応、合併症
15	12/10(火)	4	323	大動脈弁の外科治療	西村 元延	器官再生外科学	大動脈弁疾患の病態、症候、診断、治療を説明できる。	重症度、手術適応、外科手術
16	12/12(木)	2	323	心エコー	松原 剛一	第一内科診療科群	心エコー図を理解できる。	画像診断、病態評価
17	12/13(金)	3	421	先天性心疾患外科治療	原田 真吾	器官再生外科学	代表的な先天性心疾患の病態、症候、診断、外科治療を説明できる。	病型、診断、手術適応、外科治療
18	12/17(火)	4	323	緊急循環器疾患	森本 啓介	器官再生外科学(非常勤講師)	緊急循環器疾患の病態、診断、治療を説明できる。	画像診断、重症度、血管内治療、外科手術
19	12/18(水)	1	323	睡眠時無呼吸と循環器疾患	加藤 雅彦	病態検査学	睡眠時無呼吸の循環器疾患へのかかわりを説明できる。	睡眠時無呼吸、CPAP療法

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
20	12/18(水)	2	323	副腎疾患・尿酸代謝	浜田 紀宏	地域医療学	副腎ホルモンの過剰ないしは副腎機能低下が身体に及ぼす影響を概説し、病態解明のための的確な検査計画を立案できる。尿酸代謝を説明できる。	原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫、副腎不全、高尿酸血症
21	12/24(火)	4	323	僧帽弁疾患	山本 一博	病態情報内科学	僧帽弁疾患の病態、症候、診断、治療方針を説明できる。	自覚症状、検査所見、手術適応、合併症
22	12/25(水)	1	323	末梢静脈疾患と肺塞栓	金岡 保	器官再生外科学(非常勤講師)	末梢静脈疾患の症候、診断、治療を説明できる。肺塞栓の病態、診断、治療を説明できる。	画像診断、薬物治療、外科手術
23	12/25(水)	2	323	腹部大動脈疾患	金岡 保	器官再生外科学(非常勤講師)	腹部大動脈疾患の病態、症候、診断、治療を説明できる。	重症度、画像診断、薬物治療、血管内治療、外科手術
24	12/27(金)	3	323	人工心肺と心筋保護	大野原 岳史	心臓血管外科	人工心肺の原理を理解し、各術式別にその使用法が説明できる。	人工心肺、脳分離体外循環、逆行性脳灌流、低体温循環停止、心筋保護
25	1/7(火)	4	323	循環器の画像診断	北尾 慎一郎	放射線科	循環器疾患に用いる画像診断法についての基本を説明できる。	画像診断、CT、MRI、核医学
26	1/8(水)	1	323	循環器疾患に対する検査(2)	加藤 克	第一内科診療科群	循環器疾患に対する検査が説明できる。	レントゲン検査、心電図、心臓カテーテル検査、超音波、心筋シンチグラフィ、MRI、PET
27	1/8(水)	2	323	心不全(1)	山本 一博	病態情報内科学	急性心不全の症候、病態分類、治療方針を説明できる。	自覚症状、身体所見、病態分類、検査、治療方針
28	1/10(金)	3	323	人工臓器と臓器移植	大月 優貴	心臓血管外科	循環器疾患に対する人工臓器・移植治療を説明できる。	人工臓器治療、移植治療
29	1/15(水)	1	323	脂質代謝異常	小倉 一能	第一内科診療科群	脂質代謝と動脈硬化について理解し説明できる。	脂質代謝、治療
30	1/15(水)	2	323	心不全(2)	山本 一博	病態情報内科学	急性心不全の症候、病態分類、治療方針を説明できる。	自覚症状、身体所見、病態分類、検査、治療方針
31	1/16(木)	3	323	心膜・心臓腫瘍	大野原 岳史	心臓血管外科	心膜疾患、心臓腫瘍が説明できる。	病型、診断、治療
32	1/16(木)	4	323	僧帽弁の外科治療	西村 元延	器官再生外科学	僧帽弁疾患の病態、症候、診断、治療を説明できる。	重症度、手術適応、外科手術
33	1/21(火)	3	323	虚血性心疾患(3)	中村 嘉伸	器官再生外科学	虚血性心疾患の外科的治療を説明できる。	手術適応、外科治療
34	1/21(火)	4	323	心臓リハビリテーション	衣笠 良治	病態情報内科学	心臓リハビリテーションの概念について理解する。	運動療法、多職種介入
35	1/22(水)	1	323	心筋炎・心筋症	加藤 克	第一内科診療科群	心膜疾患、心臓腫瘍が説明できる。	病型、診断、治療
36	1/22(水)	2	323	心不全(3)	山本 一博	病態情報内科学	慢性心不全の症候、病態分類、治療方針を説明できる。	自覚症状、身体所見、病態分類、検査、治療方針
37	1/23(木)	3	323	心不全の外科治療	西村 元延	器官再生外科学	心不全の外科的治療方法を説明できる。	重症度、手術適応、外科手術
38	1/23(木)	4	323	不整脈のデバイス治療	加藤・小倉	第一内科診療科群	不整脈デバイスの治療について概説できる。	ペースメーカー、植込み型除細動器

教育ブランドデザインとの関連:2

授業レベル:2

学位授与の方針と関連:1

評価:定期試験100%

実務経験との関連:現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。

## 臨床呼吸器学

- 科目到達目標: 1) 呼吸困難、咳嗽等の原因と病態生理を説明できる。  
 2) 呼吸困難、咳嗽、血痰等をきたす疾患を列挙し、その診断と治療の要点を概説できる。  
 3) 呼吸器疾患の検査(肺機能検査、胸部CT等)について説明できる。  
 4) 慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、肺癌、間質性肺炎等の病態、症候、診断、治療を説明できる。

科目責任者(所属教室): 山崎 章(分子制御内科学)

連絡先: 87255

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	11/5(火)	3	323	慢性閉塞性肺疾患	山崎 章	分子制御内科学	COPDなどの病態、症候、診断、治療を説明できる。	COPD、慢性気管支炎、肺気腫
2	11/7(木)	3	323	比較的希なびまん性肺疾患1	中本 成紀	感染症内科	比較的希なびまん性肺疾患を理解する。	Goodpasture症候群、Langerhans細胞肉芽腫
3	11/7(木)	4	323	呼吸不全	井岸 正	卒後臨床研修センター	急性・慢性呼吸不全の病態、治療を理解する。	呼吸不全、酸素療法、人工換気
4	11/12(火)	3	323	比較的希なびまん性肺疾患2	山崎 章	分子制御内科学	比較的希なびまん性肺疾患を理解する。	肺胞蛋白症、LAM
5	11/14(木)	3	323	肺腫瘍の外科治療	谷口 雄司	胸部外科診療科群	肺腫瘍の外科的治療を説明できる。	術前検査、術式の選択、術後管理、術後化学療法
6	11/14(木)	4	323	気管支拡張症、肺嚢胞症	井岸 正	卒後臨床研修センター	気管支拡張症、肺嚢胞症を理解する。	病因、画像診断、治療
7	11/19(火)	3	323	肺循環障害1	森田 正人	分子制御内科学	肺動静脈瘻、肺分画症の病態、診断、治療を説明できる。	肺動静脈瘻、肺分画症
8	11/21(木)	3	323	縦隔疾患	谷口 雄司	胸部外科診療科群	縦隔病変の病態、症候、診断、治療を説明できる。	縦隔腫瘍、縦隔気腫、縦隔炎
9	11/21(木)	4	323	肺循環障害2	山崎 章	分子制御内科学	肺塞栓、肺高血圧の病態、症候、診断、治療を説明できる。	肺塞栓、肺高血圧
10	11/26(火)	3	323	肺循環障害3	森田 正人	分子制御内科学	ARDS、肺水腫を理解する。	ARDS、肺水腫
11	11/28(木)	3	323	肺癌治療	牧野 晴彦	第三内科診療科群	肺癌の治療を説明できる。	手術療法、化学療法、放射線治療
12	11/28(木)	4	323	びまん性汎細気管支炎、無気肺	山崎 章	分子制御内科学	びまん性汎細気管支炎、無気肺を理解する。	慢性副鼻腔炎、症候、呼吸機能、画像診断
13	12/3(火)	3	323	放射線診断	塚本和充	放射線科	呼吸器疾患の放射線診断を説明できる。	単純撮影、CT、MRI、核医学
14	12/5(木)	3	323	肺腫瘍	小谷 昌広	分子制御内科学	肺腫瘍の病態、症候、診断を説明できる。	良性肺腫瘍、肺癌、転移性肺腫瘍、疫学、発癌
15	12/5(木)	4	323	機能的呼吸障害	井岸 正	卒後臨床研修センター	機能的呼吸障害の症候、治療を説明できる。	過換気症候群、中枢性肺泡低換気症候群

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
16	12/10(火)	3	323	肺のアレルギー・免疫疾患1	山崎 章	分子制御内科学	肺のアレルギー・免疫疾患を理解する。	サルコイドーシス、過敏性肺臓炎、PIE症候群
17	12/12(木)	3	323	物理化学的原因による呼吸器疾患	牧野 晴彦	第三内科 診療科群	物理化学的原因による肺疾患の病態、症候、診断、治療を説明できる。	放射線性肺臓炎、薬剤性肺障害、職業性肺疾患
18	12/12(木)	4	323	胸膜疾患、胸部外傷	谷口 雄司	胸部外科診療科群	胸膜病変、胸部外傷の病態、症候、診断、外科的治療を説明できる。	膿胸、気胸、胸膜中皮腫、flail chest
19	12/13(金)	4	431	睡眠呼吸障害	鱒岡 直人	病態検査学	睡眠時無呼吸症候群を理解する。	睡眠時無呼吸症候群、チェーン・ストークス呼吸
20	12/17(火)	3	323	感染性肺疾患1	千酌 浩樹	感染制御部	一般的な呼吸器感染症の病態、診断、治療を説明できる。	急性気管支炎、市中肺炎、院内肺炎、肺化膿症
21	12/19(木)	3	323	肺癌合併症	小谷 昌広	分子制御内科学	肺癌合併症の診断、治療の実際を理解する。	癌性胸膜炎、上大静脈症候群、反回神経麻痺
22	12/19(木)	4	323	肺のアレルギー・免疫疾患2	山崎 章	分子制御内科学	GPA、アレルギー性肉芽腫性血管炎を理解する。	GPA、アレルギー性肉芽腫性血管炎
23	12/24(火)	3	323	感染性肺疾患2	千酌 浩樹	感染制御部	肺抗酸菌感染症の症候、診断、治療を説明できる。	肺結核、非結核性抗酸菌症
24	12/26(木)	4	323	気管支喘息類似疾患	原田 智也	第三内科 診療科群	気管支喘息類似疾患の病態、診断、治療を説明できる。	アレルギー性気管支肺アスペルギルス症、咳喘息、アトピー咳嗽
25	12/27(金)	4	323	気管支喘息1	富田 桂公	分子制御内科学 (非常勤講師)	気管支喘息の病態、症候、診断、治療を説明できる。	慢性剥離性気管支炎、呼吸機能、アレルギー、アスピリン喘息
26	1/7(火)	3	323	腫瘍随伴症候群	井岸 正	卒後臨床 研修センター	腫瘍随伴症候群を理解する。	高Ca血症、SIADH、クッシング症候群
27	1/9(木)	3	323	気管支喘息2	山崎 章	分子制御内科学	気管支喘息の診断、治療の実際を理解する。	症候、呼吸機能検査、薬物療法
28	1/9(木)	4	323	特発性間質性肺炎	森田 正人	分子制御内科学	特発性間質性肺炎の病態、症候、診断、治療を説明できる。	特発性肺線維症、非特異性間質性肺炎、特発性器質化肺炎
29	1/10(金)	4	323	感染性肺疾患3	山崎 章	分子制御内科学	免疫抑制状態の呼吸器感染症の病態、診断、治療を説明できる。	日和見感染、真菌、ニューモシスチス肺炎、サイトメガロウイルス
30	1/14(火)	3	323	膠原病合併肺疾患	森田 正人	第三内科 診療科群	膠原病に合併する肺疾患の病態、症候、診断、治療を説明できる。	リウマチ肺、amyopathic DM、胸膜炎

教育ブランドデザインとの関連: 1, 2, 3, 4

学位授与の方針と関連: 1,2,3

授業レベル: 3

評価: 定期試験

実務経験との関連: 現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。

参考書: 特に指定はしない

## 臨床内分泌・代謝学

科目到達目標: 内分泌疾患ならびに糖尿病をはじめとする代謝疾患の病態、診断、治療(予防を含む)を説明できる。

科目責任者(所属教室): 山本 一博(病態情報内科学)

連絡先: 第一内科医局内線6517

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	11/6(水)	3	323	下垂体(I)	伊澤 正一郎	第一内科診療科群	下垂体腺腫の関連する病態を理解し説明できる。	先端肥大症、クッシング病、プロラクチノーマ、TSH産生下垂体腺腫、非機能性下垂体腺腫
2	11/13(水)	3	323	糖代謝異常(I)	谷口 晋一	地域医療学	糖代謝機構と糖尿病の病態を理解できる。	糖代謝異常、ケトアシドーシス
3	11/20(水)	3	323	下垂体(II)	伊澤 正一郎	第一内科診療科群	下垂体機能低下症、中枢性尿崩症、抗利尿ホルモン不適切分泌症候群を理解し説明できる。	下垂体前葉機能低下症、中枢性尿崩症、SIADH
4	11/27(水)	3	323	糖代謝異常(II)	藤岡 洋平	第一内科診療科群	糖尿病の診断と慢性合併症を理解できる。	1型・2型糖尿病、糖尿病性末梢神経障害・網膜症・腎症、動脈硬化症
5	12/4(水)	3	323	視床下部・低身長	花木 啓一	母性・小児家族看護学	視床下部・下垂体疾患・低身長を理解し説明できる。	視床下部・下垂体、間脳下垂体腫瘍、低身長
6	12/4(水)	4	323	甲状腺(I)	松澤 和彦	第一内科診療科群	甲状腺機能異常の原因、病態、診断、治療および甲状腺腫瘍の病態、診断を説明できる。	甲状腺中毒症、甲状腺機能低下症、甲状腺癌、Plummer病、薬剤性甲状腺機能異常、SITSH
7	12/11(水)	3	323	内分泌外科	石黒 清介	乳腺内分泌外科(非常勤講師)	甲状腺、副甲状腺疾患の外科治療について説明できる。	バセドウ病、甲状腺腫瘍、原発性副甲状腺機能亢進症、副腎皮質腺腫・癌、褐色細胞腫
8	12/11(水)	4	323	脂質代謝異常	谷口 晋一	地域医療学	脂質代謝機構と脂質異常の病態・治療を理解できる。	脂質(コレステロール・脂肪酸)代謝、脂質異常症の分類、スタチン系・フィブラート系薬
9	12/18(水)	3	323	糖代謝異常(III)	藤岡 洋平	第一内科診療科群	糖尿病の病態、急性合併症について説明できる。	糖尿病の成因分類、インスリン分泌不全・抵抗性、糖尿病性昏睡、低血糖
10	12/18(水)	4	323	糖代謝異常(IV)	藤岡 洋平	第一内科診療科群	糖尿病治療概論と食事・運動療法、経口糖尿病薬について理解できる。	食事・運動療法、経口糖尿病薬
11	12/25(水)	3	323	糖代謝異常(V)	藤岡 洋平	第一内科診療科群	インスリン治療について理解する。	インスリン製剤
12	12/25(水)	4	323	甲状腺(II)	松澤 和彦	第一内科診療科群	バセドウ病と慢性甲状腺炎(橋本病)の病態、診断、治療およびその鑑別疾患を説明できる。	バセドウ病、慢性甲状腺炎(橋本病)、バセドウ病眼症、甲状腺クリーゼ、粘液水腫性昏睡
13	1/8(水)	4	323	副甲状腺、Ca代謝異常	松澤 和彦	第一内科診療科群	副甲状腺疾患・Ca代謝異常について概説できる。	Ca・P代謝、特発性・偽性副甲状腺機能低下症、原発性副甲状腺機能亢進症
14	1/15(水)	3	323	副腎	伊澤 正一郎	第一内科診療科群	副腎疾患の病態を理解し説明できる。	副腎腫瘍(クッシング症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫、副腎偶発腫、副腎皮質癌)、副腎皮質機能低下症
15	1/15(水)	4	323	最近の内分泌代謝学の動向	伊澤 正一郎	第一内科診療科群	最近の内分泌代謝学の動向について理解する。	先端医療

教育ブランドデザインとの関連: 2,3,6

学位授与の方針と関連: 1,2

授業レベル: 2

評価: 定期試験 100%

実務経験との関連: 現役の専門医がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。

教科書: 内科学(朝倉書店)、内科学書(中山書店)、糖尿病治療ガイド(文光堂)、内分泌代謝科専門医研修ガイドブック(診断と治療社)等

## 臨床血液学

科目到達目標:血液疾患(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、貧血など)の病態、症候、診断、治療を説明できる。

科目責任者(所属教室):福田哲也(血液内科)

連絡先:学務課教務係(me-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	11/5(火)	1	323	貧血(1)	福田 哲也	血液内科	貧血を分類し、鑑別に有用な検査を列挙できる。	平均赤血球容積(MCV)、網赤血球、小球性貧血、鉄欠乏性貧血
2	11/5(火)	2	323	貧血(2)	福田 哲也	血液内科	欠乏性貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。	症候性貧血、大球性貧血、巨赤芽球性貧血
3	11/12(火)	1	323	貧血(3)	福田 哲也	血液内科	溶血性貧血と再生不良性貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。	正球性貧血、自己免疫性溶血性貧血、発作性夜間血色素尿症、再生不良性貧血
4	11/12(火)	2	323	骨髄異形成症候群	本倉 徹	臨床検査医学	骨髄異形成症候群(MDS)の臨床像を説明できる。	骨髄異形成症候群、IPSS、脱メチル化薬
5	11/19(火)	1	323	急性白血病(1)	本倉 徹	臨床検査医学	急性白血病の病態、症候、診断と分類について説明できる。	FAB分類、WHO分類、アウエル小体、染色体転座
6	11/19(火)	2	323	急性白血病(2)	本倉 徹	臨床検査医学	急性白血病の治療と予後を説明できる。	寛解導入療法、地固め療法、維持療法、Fractional Kill
7	11/26(火)	1	323	多発性骨髄腫(1)	本倉 徹	臨床検査医学	多発性骨髄腫の病態、症候、診断について説明できる。	過粘稠度症候群、高カルシウム血症、打ち抜き像、遊離軽鎖、ベンスージョーンズ蛋白
8	11/26(火)	2	323	多発性骨髄腫(2)	本倉 徹	臨床検査医学	多発性骨髄腫の診断、治療と予後について説明できる。	MGUS、原発性マクログロブリン血症、アミロイドーシス
9	12/3(火)	1	323	悪性リンパ腫(1)	福田 哲也	血液内科	ホジキンリンパ腫とaggressive悪性リンパ腫を概説し、病態、症候、診断、治療と予後を説明できる。	ホジキンリンパ腫、び慢性大型B細胞リンパ腫、抗体医薬、ABVD療法、R-CHOP療法
10	12/3(火)	2	323	悪性リンパ腫(2)	福田 哲也	血液内科	indolentリンパ腫と慢性リンパ性白血病を概説し、病態、症候、診断、治療と予後を説明できる。	ろ胞性リンパ腫、MALTリンパ腫、慢性リンパ性白血病、ベンダムスチン
11	12/10(火)	1	323	悪性リンパ腫(3)	福田 哲也	血液内科	成人T細胞白血病リンパ腫の病態、症候、診断、治療と予後を説明できる。	HTLV-1、花細胞、高カルシウム血症
12	12/10(火)	2	323	HIV感染症	千酌 浩樹	感染症内科	HIV感染症の病態を理解し、症候、診断と治療を説明できる。	HIV、AIDS、HAART療法
13	12/17(火)	1	323	慢性骨髄性白血病	福田 哲也	血液内科	慢性骨髄性白血病の病態、症候、診断、治療と予後を説明できる。	微小残存病変、分子標的薬、BCR-ABL

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
14	12/17(火)	2	323	骨髄増殖性腫瘍	本倉 徹	臨床検査医学	骨髄増殖性腫瘍の病態、症候、診断、治療と予後を説明できる。	骨髄線維症、本態性血小板血症、真性多血症、JAK2変異
15	12/24(火)	1	323	造血幹細胞移植(1)	但馬 史人	米子医療センター(非常勤講師)	自家もしくは同種造血幹細胞移植の原理と他の治療との関連について説明できる。	造血幹細胞、HLA、ドナーソース、拒絶、GVHD
16	12/24(火)	2	323	造血幹細胞移植(2)	但馬 史人	米子医療センター(非常勤講師)	造血幹細胞移植の合併症とその対策について説明できる。	ミニ移植、日和見感染
17	1/7(火)	1	323	悪性リンパ腫(4)	本倉 徹	臨床検査医学	マントル細胞リンパ腫その他のリンパ腫の病態、症候、診断、治療と予後を説明できる。	マントル細胞リンパ腫、皮膚T細胞リンパ腫、サイクリン、細胞周期、ヒストン脱アセチル化酵素阻害薬
18	1/7(火)	2	323	EBV関連疾患その他	福田 哲也	血液内科	EBV関連疾患の病態、症候、診断、治療と予後について説明できる。	潜伏感染、移植後リンパ増殖性疾患、慢性活動性EBV感染症、血球貪食症候群
19	1/14(火)	1	323	出血性疾患、血栓性疾患	矢富 裕	東京大学検査部(非常勤講師)	生理的止血機構を理解した上で、その破綻としての出血性疾患、血栓性疾患の病態、さらには、診断と治療が説明できる。	ITP、TTP、血小板機能異常症、血友病、先天性血栓性素因、抗リン脂質抗体症候群
20	1/14(火)	2	323	DIC	矢富 裕	東京大学検査部(非常勤講師)	DICの病態を理解し、診断と治療が説明できる。	DIC診断基準、FDP
21	1/21(火)	1	323	輸血療法	本倉 徹	臨床検査医学	輸血療法の原理と副作用について説明できる。	血液型、成分輸血、輸血関連有害事象
22	1/21(火)	2	323	血液疾患における新規薬剤	本倉 徹	臨床検査医学	新規薬剤の作用機序、医療現場への影響を説明できる。	分子標的薬、抗体医薬、ADCC、CDC、エピジェネシス、がん免疫療法、コンパニオン診断薬
23	1/28(火)	2	323	血液疾患のまとめ	福田 哲也	血液内科	血液疾患のそれぞれについて、概説できる。	貧血、急性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫

教育ブランドデザインとの関連： 2

学位授与の方針との関連： 1

授業レベル： 3

評価：定期試験 100%

実務経験との関連：現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。

その他：臨床的な血液疾患の診断・治療について講義するので、基礎血液学の講義内容について各自が復習すること。